

令和元年5月20日

令和元年度「日本遺産(Japan Heritage)」の認定結果の発表 及び認定証の交付について

令和元年度「日本遺産 (Japan Heritage)」の認定については、「日本遺産審査委員会」の審議を経て別紙1の16件を新たに「日本遺産 (Japan Heritage)」に認定するとともに、以下のとおり、令和元年度「日本遺産 (Japan Heritage)」認定発表及び認定証交付式を行いました。

○ 令和元年度日本遺産認定発表及び認定証交付式

日 時：令和元年5月20日（月）11時00分から

場 所：東京国立博物館平成館 大講堂

詳しくは、以下の資料を参照願います。

別紙1 令和元年度「日本遺産 (Japan Heritage)」認定一覧

別紙2 令和元年度「日本遺産 (Japan Heritage)」認定概要

別紙3 令和元年度「日本遺産 (Japan Heritage)」申請一覧

別紙4 「日本遺産 (Japan Heritage)」について

別紙5 令和元年度日本遺産審査委員会委員名簿

<担当> 文化庁文化資源活用課

課長 小林万里子

課長補佐 菊地 史晃

文化財活用専門官 中島 充伸

主任 杉浦あおい

専門官付 加藤 元康

溝田 直己

電話：03-5253-4111（代表）

03-6734-4760（直通）

令和元年度「日本遺産(Japan Heritage)」認定一覧

番号	道府県名	申請者 (◎印は代表自治体)	ストーリーのタイトル
1	北海道	◎赤平市, 小樽市, 室蘭市, 夕張市, 岩見沢市, 美瑛市, 芦別市, 三笠市, 栗山町, 月形町, 沼田町, 安平町	本邦国策を北海道に観よ! ~北の産業革命「炭鉄港」~
2	宮城県, 岩手県	宮城県(気仙沼市, 南三陸町, ◎涌谷町), 岩手県(平泉町, 陸前高田市)	みちのくGOLD浪漫 - 黄金の国ジパング, 産金はじまりの地をたどる -
3	群馬県	館林市	里沼(SATO-NUMA) - 「祈り」「実り」「守り」の沼が磨き上げた館林の沼辺文化 -
4	福井県	◎福井県(福井市, 勝山市)	400年の歴史の扉を開ける旅 ~石から読み解く中世・近世のまちづくり 越前・福井~
5	愛知県	名古屋市	江戸時代の情緒に触れる絞りの産地 ~藍染が風にゆれる町 有松~
6	三重県	◎鳥羽市, 志摩市	海女(Ama)に出逢えるまち 鳥羽・志摩 ~素潜り漁に生きる女性たち
7	滋賀県, 岐阜県, 京都府, 大阪府, 兵庫県, 奈良県, 和歌山県	滋賀県(◎大津市, 長浜市, 近江八幡市), 岐阜県(揖斐川町), 京都府(宇治市, 京都市, 亀岡市, 宮津市, 舞鶴市), 大阪府(和泉市, 藤井寺市, 茨木市, 箕面市), 兵庫県(宝塚市, 加東市, 加西市, 姫路市), 奈良県(高取町, 明日香村, 桜井市, 奈良市), 和歌山県(那智勝浦町, 和歌山市, 紀の川市)	1300年つづく日本の終活の旅 ~西国三十三所観音巡礼~
8	大阪府	泉佐野市	旅引付と二枚の絵図が伝えるまち - 中世日根荘の風景 -
9	大阪府	河内長野市	中世に出逢えるまち ~千年にわたり護られてきた中世文化遺産の宝庫~
10	兵庫県	赤穂市	「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂
11	鳥取県, 兵庫県	鳥取県(◎鳥取市, 岩美町, 若桜町, 智頭町, 八頭町), 兵庫県(香美町, 新温泉町)	日本海の風が生んだ絶景と秘境 - 幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」
12	島根県	◎浜田市, 益田市, 大田市, 江津市, 川本町, 美郷町, 邑南町, 津和野町, 吉賀町	神々や鬼たちが躍動する神話の世界 ~石見地域で伝承される神楽~
13	岡山県, 香川県	岡山県(◎笠岡市), 香川県(丸亀市, 土庄町, 小豆島町)	知ってる!? 悠久の時間が流れる石の島 ~海を越え, 日本の礎を築いたせとうち備讃諸島~
14	徳島県	徳島市, 吉野川市, 阿波市, 美馬市, 石井町, 北島町, ◎藍住町, 板野町, 上板町	藍のふるさと 阿波 ~日本中を染め上げた至高の青を訪ねて~
15	鹿児島県	◎鹿児島県(鹿児島市, 出水市, 垂水市, 薩摩川内市, いちぎ串木野市, 南さつま市, 志布志市, 南九州市, 始良市)	薩摩の武士が生きた町 ~武家屋敷群「籠」を歩く~
16	沖縄県	◎沖縄県(那覇市, 浦添市)	琉球王国時代から連綿と続く沖縄の伝統的な「琉球料理」と「泡盛」, そして「芸能」

令和元年度「日本遺産 (Japan Heritage)」認定概要

- ① ◎^{あかびらし}赤平市, ^{おたるし}小樽市, ^{むろらんし}室蘭市, ^{ゆうばりし}夕張市, ^{いわみざわし}岩見沢市, ^{びばいし}美唄市, ^{あしべつし}芦別市, ^{みかさし}三笠市, ^{くりやまちょう}栗山町, ^{つきがたちょう}月形町, ^{ぬまたちょう}沼田町, ^{あびらちょう}安平町 (北海道) ※◎印は代表自治体 (以下同)

《本邦国策を北海道に観よ! ~北の産業革命「炭鉄港」~》

明治の初めに命名された広大無辺の大地「北海道」。その美しくも厳しい自然の中で、「石炭」・「鉄鋼」・「港湾」とそれらを繋ぐ「鉄道」を舞台に繰り広げられた北の産業革命「炭鉄港」は、北海道の発展に大きく貢献してきました。

当時の繁栄の足跡は、空知の炭鉱遺産、室蘭の工場景観、小樽の港湾そして各地の鉄道施設など、見る者を圧倒する本物の産業景観として今でも数多く残っています。

100 km圏内に位置するこの3地域を原動力として、北海道の人口は約100年で100倍になりました。その急成長と衰退、そして新たなチャレンジを描くダイナミックな物語は、これまでにない北海道の新しい魅力として、訪れる人に深い感慨と新たな価値観をもたらします。

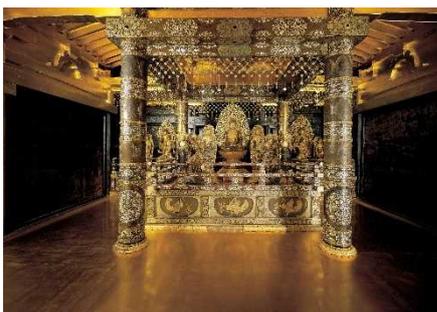


- ② 宮城県 (^{けせんぬまし}気仙沼市, ^{みなみさんりくちょう}南三陸町, ◎^{つみやち}涌谷町), 岩手県 (^{ひらいずみちょう}平泉町, ^{りくぜんたかたし}陸前高田市)

《みちのくGOLD浪漫 -黄金の国ジパング, 産金はじまりの地をたどる-》

日本で初めて“金”が産出されたのは奈良時代の^{むつのに}陸奥国。現在の岩手県や宮城県を含み「みちのく」とも呼ばれるこの地が生んだ“金”は富の象徴のみならず、奈良・東大寺の大仏や平泉・中尊寺^{こんじきどう}金色堂を彩り、祈りの対象として人々の心に光を灯し続けてきました。

私たちは、時代とともに幾重にも結び付き、独自の文化や信仰、産業へと昇華した“金”と人々の^{えにし}縁を“みちのくGOLD”と名付け、価値や魅力の掘り起しを始めました。日々の生活や風土に溶け込んだ“みちのくGOLD”との出会いは、悠久の時を経ても色褪せることのない浪漫に満ち溢れています。



【中尊寺金色堂】



【田東山山頂から三陸を望む】

③ たてばやし 館林市（群馬県）

《^{さとぬま}里沼 (SATO-NUMA) — 「^{いの}祈り」「^{みの}実り」「^{まも}守り」の沼が^{ぬま}磨き上げた^{たてばやし}館林の^{ぬまべぶんか}沼辺文化—》

関東の山々が一望できる館林では、今も多くの沼と出会うことができる。館林の沼は人里近くにあり、「里山」と同様に人々の暮らしと深く結び付き、人が沼辺を活かすことで良好な環境が保たれ、文化が^{はぐく}育まれてきた「^{さとぬま}里沼 (SATO-NUMA)」であった。館林の里沼は、沼ごとに特性が異なる。その歴史を紐解くと、里沼の原風景と信仰が共存する^{もりんじぬま}茂林寺沼は「祈りの沼」、沼の恵みが暮らしを支えた^{たたらぬま}多々良沼は「実りの沼」、館林城とつつじの名勝地を守ってきた^{じょうぬま}城沼は「守りの沼」と言い換えることができる。館林の里沼を迎えれば、それぞれの沼によって磨き上げられた館林の沼辺文化を味わい、体感することができる。



【左上：茂林寺沼及び低地湿原
右上：多々良沼，左下：城沼】

【沼の漁具と日向舟】

④ ◎^{ふくいし}福井県（^{かつやまし}福井市，^{かつやまし}勝山市）

《^{ねん}400年の^{れきし}歴史の^{とびら}扉を開ける旅 ～^あ石から^{たび}読み解く^{いし}中世・^よ近世の^とまちづくり ^{ちゆうせい}越前・^{きんせい}福井～》

越前・福井では、中世期に地方に生まれ、大量の石を用いて計画的につくられた都市が今も独特の空間を醸し出しています。また、近世期の城下町では、風景に溶け込んだ美しい青色の石が天候によって街並みの色合いを変化させ、自然の力が大地を階段状につくり上げた街の中心部には石の壁が続きます。様々な形に姿を変えて時代を越えてきた石が私たちを出迎える越前・福井は、日本人と石との共生の歴史や屈指の石づくり文化を体感させてくれる地です。



【一乗谷】



【一乗谷朝倉氏遺跡】



【白山平泉寺旧境内】

⑤ ^{なごやし}名古屋市（愛知県）

《^{えどじだい}江戸時代の^{じょうちよ}情緒に^ふ触れる^{しば}絞りの^{さんち}産地 ～^{あいぞめ}藍染が^{かぜ}風に^{まち}ゆれる^{ありまつ}町 有松～》

どこまでも広がる藍色の空の下、藍で染められた絞り暖簾が風にゆれる古い商家の落ち着いた佇まい。絞りの町「有松」には、江戸時代の浮世絵さながらの景観が今も静かに広がっています。

「ほしいもの 有松染めよ 人の身の あぶら絞りし 金にかえても」

この歌を詠んだ『東海道中膝栗毛』の主人公の弥次さんは、絞りの素晴らしさに魅せられて手拭いを買いました。旅のお土産として、世界に知られている有松の絞りはいかがですか。

四百年の歴史を持つ有松の江戸文化は、今も多くの人々を魅了しています。



【絞り浴衣本藍染鎧段】



【服部幸平家住宅倉・服部良也家住宅】

⑥ ◎^{とばし}鳥羽市、^{しまし}志摩市（三重県）

《^{あま}海女（Ama）に^{であ}出逢える^{まち}まち 鳥羽・志摩 ～^{すもぐり}素潜り^{りょう}漁に^い生きる^{じょせい}女性たち》

豊かな海産物に恵まれた鳥羽・志摩は、全国の約半数の海女が活躍する日本一の「海女に出逢えるまち」である。この地域で、女性が素潜りでアワビ、サザエや海藻を獲る海女漁の始まりは約 2,000 年前まで遡り、世界でも日本と韓国のみ希少な漁法である。海女が獲った海産物は伊勢神宮に「^{しんま}神饌（神様に捧げる供物）」として奉納され続けており、海女が中心となる祭も継承されているなど、海女ならではの風習や信仰などの「海女文化」が今も色濃く息づいている。鳥羽・志摩をめぐれば、海女文化を「五感」で体感でき、元気な海女からパワーをもらえるに違いない。



【鳥羽・志摩の海女漁の技術】



【海女の祭（しろんご祭）】

- ⑦ 滋賀県（◎大津市，長浜市，近江八幡市），岐阜県（揖斐川町），京都府（宇治市，京都市，
 亀岡市，宮津市，舞鶴市），大阪府（和泉市，藤井寺市，茨木市，箕面市），兵庫県（宝
 塚市，加東市，加西市，姫路市），奈良県（高取町，明日香村，桜井市，奈良市），和歌
 山県（那智勝浦町，和歌山市，紀の川市）

《1300年つづく日本の終活の旅 ～西国三十三所観音巡礼～》

究極の終活とは、ただ死に向かって人生の整理をすることではない。人生を通して、いかに充実した心の生活を送れるかを考えることが、日本人にとっての究極の終活である。そして、それを達成できるのが西国三十三所観音巡礼である。

日本人は海外の人から『COOL!』だと言われる。そのように評価されるのは、優しさ、心遣い、勤勉さといった日本人の本来の心であり、実はそれは日本人が親しんできた「観音さん」の教えそのものである。観音を巡り日本人本来の豊かな心で生きるきっかけとなる旅、それが西国三十三所観音巡礼なのだ。



【石山寺】



【木造十一面観音立像（長谷寺）】

- ⑧ 泉佐野市（大阪府）

《旅引付と二枚の絵図が伝えるまち —中世日根荘の風景—》

今から800年前、泉佐野市は上級貴族、九条家の領地「日根荘」でした。ここには二枚の荘園絵図と九条政基が書いた「旅引付」という日記が残されています。絵図には緑豊かな風景に、田畑に恵の水を注ぐため池や水路、社寺などが描かれ、日記には500年前の村の生活や人々の様子がいきいきと記されています。荘園の地を創り、中世から受け継がれてきた現在のこの風景は、絵図や日記に描かれた魅力ある農村景観へと誘ってくれるのです。



【日根荘大木の農村景観】



【犬鳴山七宝瀧寺並びに大木村絵図】

⑨ ^{かわちながのし}河内長野市（大阪府）

《^{ちゆうせい}中世に出逢えるまち ^{せんねん}～千年にわたり ^{まも}護られてきた ^{ちゆうせいぶんかいさん}中世文化遺産の宝庫^{ほうこ}～》

河内長野市は京と高野山を結ぶ街道の中間地に位置し、檜尾山観心寺、天野山金剛寺の2大寺院が隆盛したまちである。街道沿いの白壁の塀、銀色に輝く瓦葺きの屋根、朱・緑・黄色などの鮮やかな柱、優雅で美しいその建物の中は凜とした静けさに包まれ、金色に光り輝く仏像が安置されている。

この2大寺院の隆盛により市域では多くの社殿、お堂や仏像が造られ、また交通の要衝となったことから山城も築かれた。ここは、悠久の時を超えて千年にわたり護られてきた中世文化遺産の宝庫であり、訪れる人がまちじゅうで中世を体感できるまちである。



【観心寺境内】



【金剛寺の彫刻群】

⑩ ^{あこうし}赤穂市（兵庫県）

《^{にほんだいち}「日本第一」の^{しお}塩を産したまち ^{ばんしゅうあこう}播州赤穂》

江戸時代、システムティックな入浜塩田による塩づくりが確立された播州赤穂。瀬戸内の穏やかな海と気候に抱かれ、千種川が中国山地からもたらした良質の砂からできた広大な干潟は、入浜塩田の開発に適していた。その製塩技術は、瀬戸内海沿岸に広がり、市場を席卷するまでに成長した。中でも赤穂の塩は、国内きってのブランドとして名を馳せ、赤穂に多彩な恵みをもたらした。このまちには瀬戸内海から生み出される塩とともに歩んできた歴史文化が蓄積され、現在に息づいている。赤穂は今なお「塩の国」なのである。



【旧日本専売公社赤穂支局（赤穂塩務局）事務所】



【塩田での浜引き】

⑪ 鳥取県（◎鳥取市，岩美町，若桜町，智頭町，八頭町），兵庫県（香美町，新温泉町）

《日本海の風が生んだ絶景と秘境 — 幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」》

日本海から吹きつける季節風が創り上げた日本最大級の鳥取砂丘。目に見えぬ風の姿がさざ波模様の風紋に映し出され，海岸を進むと風が起こす荒波に削り出された奇岩が連なる。鳥取砂丘の砂を生み出す中国山地へと急流を辿ると，風がもたらす豪雪に育まれた杉林を背に豪邸が佇む。さらに源流へと分け入ると岩窟の中に古堂が姿を現す。

これらは日本海の風が生んだ絶景と秘境である。

人々は，厳しい風の季節での無事とそれを乗り越えた感謝を胸に，古来より幸せを呼ぶ麒麟獅子を舞い続け，麒麟に出会う旅人にも幸せを分け与えている。



【鳥取砂丘の風紋と麒麟獅子】



【智頭の林業景観】

⑫ ◎浜田市，益田市，大田市，江津市，川本町，美郷町，邑南町，津和野町，吉賀町（島根県）

《神々や鬼たちが躍動する神話の世界 ～石見地域で伝承される神楽～》

島根県西部，石見地域一円に根付く神楽は，地域の伝統芸能でありながらも，時代の変化を受容し発展を続けてきた。その厳かささと華やかさは，人の心を惹きつけて離さない。神へささげる神楽を大切にしながら，現在は地域のイベントなどでも年間を通じて盛んに舞われ，週末になればどこからか神楽囃子が聞こえてくる。老若男女，観る者を魅了する石見地域の神楽。それは古来より地域とともに歩み発展してきた，石見人が世界に誇る宝なのだ。



【神社での奉納神楽】



【石見神楽】

⑬ 岡山県(◎笠岡市), 香川県(丸亀市, 土庄町, 小豆島町)

《知ってる!? 悠久の時間が流れる石の島 ~海を越え, 日本の礎を築いたせとうち備讃諸島~》

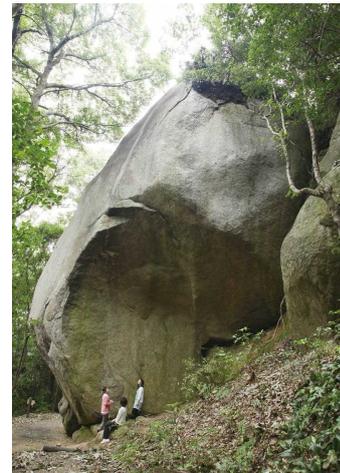
瀬戸内備讃諸島の花崗岩と石切り技術は長きにわたり日本の建築文化を支えてきた。日本の近代化を象徴する日本銀行本店本館などの西洋建築, また古くは近世城郭の代表である大坂城の石垣など, 日本のランドマークとなる建造物が, ここから切り出された石で築かれている。島々には, 400年に渡って巨石を切り, 加工し, 海を通じて運び, 石と共に生きてきた人たちの希有な産業文化が息づいている。世紀を越えて石を切り出した丁場は独特の壮観な景観を形成し, 船を操り巨石を運んだ民は, 富と迷路の様な集落を遺した。今なお, 石にまつわる信仰や生活文化, 芸能が継承されている。



【小豆島農村歌舞伎及び舞台, 石の栈敷席】



【池田の栈敷】



【大阪城石垣石丁場跡(天狗岩丁場)】

⑭ 徳島市, 吉野川市, 阿波市, 美馬市, 石井町, 北島町, ◎藍住町, 板野町, 上板町(徳島県)

《藍のふるさと 阿波 ~日本中を染め上げた至高の青を訪ねて~》

古くから日本人の生活に深くかかわり, 神秘的なブルーといわれた「藍」。徳島県の北部を雄大に流れる吉野川の流域は, 藍染料の日本一の産地です。この地域の平野部に見られる高い石垣と白壁の建物に囲まれた豪農屋敷や脇町の豪華な「うだつ」が上がる町並み, 「阿波おどり」のリズムからは藍染料の流通を担い, 全国を雄飛した藍商人のかつての栄華をうかがい知ることができます。この地域では, 今も藍染料が伝統的な技法で生み出されており, その色彩は人々を魅了し続けています。



【阿波藍製造(寝せ込み)】



【「城構え」といわれる藍屋敷(奥村家住宅)】

- ⑮ ◎鹿児島県（鹿児島市、出水市、垂水市、薩摩川内市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、南九州市、始良市）

《薩摩の武士が生きた町 ～武家屋敷群「麓」を歩く～》

勇猛果敢な薩摩の武士を育んだ地、鹿児島。そこには、本城の鹿児島城跡や、県内各地の山城跡の周辺に配置された麓と呼ばれる外城の武家屋敷群が数多く残っています。

麓は、防御に適した場所に作られ、門と玄関の間に生垣を配置する等、まるで城の中のよう
に敵に備えた構造を持っていました。そこでは武士達が、心身を鍛え、農耕に従事し、平和な世にありながら武芸の鍛錬に励みました。

鹿児島城跡や麓を歩けば、薩摩の武士達の往時の生き様が見えてきます。



【出水麓】



【旧税所家住宅】

- ⑯ ◎沖縄県（那覇市、浦添市）

《琉球王国時代から連綿と続く沖縄の伝統的な「琉球料理」と「泡盛」、そして「芸能」》

沖縄はかつて琉球王国と呼ばれ、独自の文化を形成してきました。琉球王国は「守礼の邦＝礼節を重んじる国」を掲げ、訪れる外国の賓客をもてなすために礼遇を行った。

特に、中国皇帝から派遣された冊封使節団は滞在期間が約半年間に及ぶほど大規模だった。宴は国を挙げての重要な行事で、冊封使をもてなす料理や芸能に力を注いだ。そこで供された宮廷料理や御用酒泡盛、宴を盛り上げた芸能は、今も沖縄の誇りとして県民に親しまれている。

琉球王国時代に育まれた食文化と芸能は、「世替わり」の歴史を映しながら、連綿と続く「守礼の心」で受け継がれている。



【首里城跡】



【琉球舞踊】

令和元年度「日本遺産(Japan Heritage)」申請一覧

別紙3

番号	都道府県名	申請者 (◎印は代表自治体)	ストーリーのタイトル
1	北海道	◎赤平市, 小樽市, 室蘭市, 夕張市, 岩見沢市, 美唄市, 芦別市, 三笠市, 栗山町, 月形町, 沼田町, 安平町	本邦国策を北海道に観よ! ~北の産業革命「炭鉄港」~
2	北海道	◎標津町, 根室市, 別海町, 中標津町, 羅臼町	「鮭の聖地」の物語 ~根室海峡一万年の道程~
3	宮城県, 岩手県	宮城県(気仙沼市, 南三陸町, ◎涌谷町), 岩手県(平泉町, 陸前高田市)	みちのくGOLD浪漫 - 黄金の国ジバング, 産金はじまりの地をたどる -
4	宮城県	◎登米市, 石巻市	母なる大河・北上川とともに ~陸と海とをつなぐ道~
5	秋田県	北秋田市	阿仁マタギ - 山の恵みは山神様からの授かりもの -
6	茨城県, 山梨県	茨城県(◎牛久市), 山梨県(甲州市)	“一大物産たるべきを確信す”「日本ワイン」の夜明けを謳う
7	栃木県	益子町	創作の泉・益子 ~世界とつながる民藝の空間~
8	群馬県	館林市	里沼(SATO-NUMA) - 「祈り」「実り」「守り」の沼が磨き上げた館林の沼辺文化 -
9	千葉県, 岩手県, 東京都, 高知県	千葉県(◎富里市), 岩手県(雫石町), 東京都(台東区), 高知県(安芸市)	日本の夜明けを経済・農牧から支えた開拓者 ~岩崎久彌ゆかりの地を巡る物語~
10	千葉県	◎酒々井町, 鎌ヶ谷市, 柏市, 八街市, 香取市, 成田市, 鴨川市	房総の牧 徳川將軍の牧と近代農業発祥の大地
11	新潟県	妙高市	天恵の地・妙高の産業革命 ~奇跡の水利用がもたらした近代化の物語~
12	新潟県	十日町市	豪雪を友とするところ - 雪国・十日町の暮らしとまつり -
13	福井県	◎福井県(福井市, 勝山市)	400年の歴史の扉を開ける旅 ~石から読み解く中世・近世のまちづくり 越前・福井~
14	福井県, 滋賀県	福井県(◎敦賀市, 南越前町), 滋賀県(長浜市)	海を越えた鉄道 ~世界へつながる 鉄路のキセキ~
15	福井県	小浜市	美と不老長寿の神秘 ~小浜に息づく八百比丘尼伝説~
16	福井県	大野市	結の心が育んだ芸術文化
17	福井県	鯖江市, 越前町, ◎越前市	越前工芸伝説 過去と未来を繋ぐもの
18	福井県, 京都府	福井県(◎高浜町, おおい町), 京都府(南丹市, 京都市)	「暦」歳時記。二十四節気の千年集落 ~都の北に秘められた海川里山の千年集落街道~
19	山梨県	◎大月市・上野原市	富士の溪流・桂川と甲州古道がつながる桃太郎 - 上野原・大月で活躍した桃太郎 -
20	長野県	上田市	青空と蚕が紡いだ「映画のまち」信州上田 ~大正浪漫を守り伝える真田の「表裏比興」の精神~
21	長野県	千曲市	さらしな・はにしな, 「ズク」が創った二千年の絶景 - 人びとの営みと引き継ぐ歴史遺産 -
22	岐阜県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県, 栃木県, 埼玉県, 東京都, 新潟県, 富山県, 石川県, 福井県, 三重県	岐阜県(垂井町, ◎大垣市), 岩手県(一関市, 平泉町), 宮城県(岩沼市, 松島町, 多賀城市, 栗原市, 大崎市), 秋田県(にかほ市), 山形県(遊佐町, 鶴岡市, 最上町, 尾花沢市, 天童市, 大石田町), 福島県(白河市), 栃木県(鹿沼市, 日光市, 大田原市), 埼玉県(草加市), 東京都(江東区, 荒川区, 足立区), 新潟県(出雲崎町), 富山県(滑川市, 高岡市), 石川県(金沢市, 小松市, 加賀市), 福井県(敦賀市), 三重県(伊賀市)	日本を楽しむテキスト『おくのほそ道』 ~日本人の美意識を磨く旅~
23	岐阜県	郡上市	水と踊りのまち郡上 ~長良川源流の盆踊り文化を訪ねる~
24	静岡県	掛川市	薪を背負った金次郎さんのメッセージ ~「道徳門」「経済門」と7つの木造遺産~
25	静岡県	◎伊豆市, 河津町	文学の散歩道 ~伊豆の踊子が歩いた道~
26	静岡県	◎浜松市, 湖西市	「やらまいか!」汽水湖から始まる挑戦の歴史 ~浜名湖うなぎのぼり物語~
27	静岡県	静岡市	「漆=SHIZUOKA JAPAN 時空を超え世界に翔ばたく家康の魂と駿河木工職人の技」 - 登呂遺跡・家康・ホビーと受け継がれる静岡ものづくりの系譜 -
28	愛知県	名古屋市	江戸時代の情緒に触れる絞りの産地 ~藍染が風にゆれる町 有松~

番号	都道府県名	申請者 (◎印は代表自治体)	ストーリーのタイトル
29	愛知県	岡崎市	平和の原点 -江戸幕府265年のあけぼのを知る-
30	愛知県	豊田市	中馬が伝えた塩と「粋」～足助馬ビリティーと豊田モビリティー～
31	愛知県	知立市	東海道いま・むかし～交通の要衝、知立でたどる街道文化～
32	三重県	◎鳥羽市、志摩市	海女(Ama)に出逢えるまち 鳥羽・志摩～素潜り漁に生きる女性たち
33	滋賀県、岐阜県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県	滋賀県(◎大津市、長浜市、近江八幡市)、岐阜県(揖斐川町)、京都府(宇治市、京都市、亀岡市、宮津市、舞鶴市)、大阪府(和泉市、藤井寺市、茨木市、箕面市)、兵庫県(宝塚市、加東市、加西市、姫路市)、奈良県(高取町、明日香村、桜井市、奈良市)、和歌山県(那智勝浦町、和歌山市、紀の川市)	1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～
34	滋賀県	長浜市	町衆が実現した自由都市・長浜 桃山スピリットが今に生きる町の物語
35	京都府	◎京都府(京都市、亀岡市、南丹市)	千年の都に森の恵みを運んだ水のみち～都を支えた丹波・北山と保津川文化～
36	大阪府	◎大阪府、堺市	町人の自治精神が育んだ歴史・文化の香るまち・大阪～近代建築群がいざなうタイムトラベル～
37	大阪府	池田市	500年の植木の郷 池田・細河郷
38	大阪府	泉佐野市	旅引付と二枚の絵図が伝えるまち—中世日根荘の風景—
39	大阪府	河内長野市	中世に出逢えるまち～千年にわたり護られてきた中世文化遺産の宝庫～
40	大阪府	大阪狭山市	「池の文化史を綴る」—人を守り、命を育む 日本最古のため池 狭山池—
41	兵庫県	◎伊丹市、尼崎市、西宮市、芦屋市、神戸市	六甲山麓 清酒<SAKE>物語～日本一の酒どころ 伊丹と灘の不易流行に とことん酔う～
42	兵庫県	赤穂市	「日本第一」の塩を生じたまち 播州赤穂
43	兵庫県	加西市	どこかで見た顔、どこにもない表情～五百羅漢と石の系譜～
44	奈良県	◎奈良市、御所市、生駒市、吉野町	酒造り神祕の地「日本清酒発祥の地・奈良」
45	奈良県	◎桜井市、天理市	歴史と今をつむぐ神の系「三輪そうめん」～麵食文化のルーツは日本の源流との出会い～
46	奈良県	◎三郷町、柏原市	歴史と地すべりが創り出す壮麗な風景と龍田古道～古代から現代まで苦悩に満ちた龍田越え～
47	奈良県、茨城県、長野県、静岡県、三重県、京都府、大阪府、愛媛県、福岡県、熊本県	奈良県(五條市、◎吉野町、天川村、上北山村、川上村)、茨城県(筑西市)、長野県(大鹿村)、静岡県(浜松市)、三重県(津市)、京都府(笠置町)、大阪府(河内長野市、四条畷市、千早赤阪村)、愛媛県(松山市)、福岡県(八女市)、熊本県(八代市、菊池市)	宮方(南朝)を支えた中世山城の遺構群と関連する文化財
48	和歌山県	◎和歌山県(日高川町、田辺市、御坊市、印南町、みなべ町)	今も息づく「語り」～絶世の美女 清姫がたどった道～
49	和歌山県、大阪府、奈良県	◎和歌山県(和歌山市、岩出市、紀の川市、かつらぎ町、橋本市)、大阪府(岬町、阪南市、泉佐野市、岸和田市、和泉市、河内長野市、河南町、柏原市)、奈良県(五條市、御所市、葛城市、香芝市、王寺町)	海から始まる修行の道「葛城修験」
50	鳥取県、兵庫県	鳥取県(◎鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町)、兵庫県(香美町、新温泉町)	日本海の風が生んだ絶景と秘境 -幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」
51	島根県	益田市	中世の傑作 益田を味わう—「地方」の時代に輝き再び—
52	島根県	大田市	火山からの贈り物～縄文の森に出会い、大地の脈動を感じる 石見の国おおだ～
53	島根県	◎浜田市、益田市、大田市、江津市、川本町、美郷町、邑南町、津和野町、吉賀町	神々や鬼たちが躍動する神話の世界～石見地域で伝承される神楽～
54	岡山県、香川県	岡山県(◎笠岡市)、香川県(丸亀市、土庄町、小豆島町)	知ってる!? 悠久の時間が流れる石の島～海を越え、日本の礎を築いた せとうち備讃諸島～
55	岡山県、長崎県、鹿児島県	岡山県(◎総社市)、長崎県(対馬市)、鹿児島県(南種子町)	未来につなぐ瑞穂の国の赤米
56	岡山県、兵庫県	岡山県(◎美作市、西粟倉村)、兵庫県(宍粟市)	美作・播磨の美しい森林地帯に息づく古代産業文化遺産群 -修験者の道、玉鋼の道、木地師の道の源流物語-

番号	都道府県名	申請者 (◎印は代表自治体)	ストーリーのタイトル
57	広島県、島根県	広島県(◎三次市, 府中市, 世羅町, 尾道市), 島根県(大田市, 飯南町, 美郷町)	石見銀山街道を往かん ～いにしへの産業街道を翔ける, 三つの風物語～
58	徳島県	徳島市, 吉野川市, 阿波市, 美馬市, 石井町, 北島町, ◎藍住町, 板野町, 上板町	藍のふるさと 阿波 ～日本中を染め上げた至高の青を訪ねて～
59	徳島県、兵庫県	◎徳島県(徳島市, 鳴門市), 兵庫県(南あわじ市)	渦!うず!UZU! 一心躍る鳴門の「観潮」-
60	香川県	◎土庄町, 小豆島町	おせったいの文化に宿る小豆島遍路のこころ
61	高知県	高知市, 土佐市, 須崎市, 土佐清水市, ◎中土佐町, 黒潮町	經の国・土佐 ～黒潮の恵みと共生する文化～
62	佐賀県	◎佐賀県(佐賀市, 小城市, 鹿島市, 白石町, 太良町)	月の引力を感じる暮らし ～有明海の干潟文化～
63	佐賀県	多久市	ものづくり幾万年のゆりかご 一丹邸多久-
64	長崎県、宮崎県	長崎県(◎南島原市, 大村市, 西海市, 雲仙市, 波佐見町), 宮崎県(西都市)	天正遣欧少年使節 ～日本初 ヨーロッパにJAPANを伝えた少年たち～
65	長崎県、福岡県 佐賀県	長崎県(◎長崎市, 諫早市, 大村市), 佐賀県(嬉野市, 小城市, 佐賀市), 福岡県(飯塚市, 北九州市)	長崎街道シュガーロード ～スイーツの旅～
66	熊本県	八代市	日本最高峰の石工たちが残した石造りのレガシー
67	宮崎県	◎日向市, 門川町	岩いこうぜ! ロックな景観 ～日向・門川の柱状節理～
68	宮崎県、三重県 大阪府、奈良県 和歌山県、岡山県 広島県、福岡県 大分県	宮崎県(高原町, ◎宮崎市, 都農町, 日向市), 三重県(熊野市), 大阪府(東大阪市, 泉南市), 奈良県(東吉野村, 宇陀市, 桜井市, 橿原市), 和歌山県(和歌山市, 那智勝浦町, 新宮市), 岡山県(笠岡市, 岡山市), 広島県(府中町), 福岡県(芦屋町, 北九州市), 大分県(佐伯市, 大分市, 宇佐市)	神武東遷 ～古と現在をつなぐ, 遥かなる道のり～
69	鹿児島県	◎鹿児島県(鹿児島市, 出水市, 垂水市, 薩摩川内市, いちき串木野市, 南さつま市, 志布志市, 南九州市, 姶良市)	薩摩の武士が生きた町 ～武家屋敷群「麓」を歩く～
70	沖縄県	宮古島市	青き海に囲まれた島で神歌と共に紡がれた物語。～命の水と宮古上布～
71	沖縄県	◎沖縄県(那覇市, 浦添市)	琉球王国時代から連続と続く沖縄の伝統的な「琉球料理」と「泡盛」, そして「芸能」
72	沖縄県	うるま市	戦後復興へつながった琉球芸能 一石川収容所から笑いと「ヌチヌグスージサピラ」-

※ 太字・色付きは令和元年度の「日本遺産(Japan Heritage)」に認定されたもの

「日本遺産 (Japan Heritage)」について

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」に認定するとともに、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の文化財群を地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信することにより、地域の活性化を図る。

1. 認定対象

- 日本遺産は、以下の点を踏まえたストーリーを認定する（文化財そのものが認定の対象となるわけではない）。
 - ・ 歴史的経緯や、地域の風土に根ざし世代を超えて受け継がれている伝承、風習等を踏まえたストーリーであること。
 - ・ ストーリーの中核には、地域の魅力として発信する明確なテーマを設定の上、建造物や遺跡・名勝地、祭りなど、地域に根ざして継承・保存がなされている文化財にまつわるものが据えられていること。
 - ・ 単に地域の歴史や文化財の価値を解説するだけのものになっていないこと。

- ストーリーのタイプとしては2種類
 - ・ 「地域型」…単一の市町村内でストーリーが完結。
 - ・ 「シリアル型（ネットワーク型）」…複数の市町村にまたがってストーリーが展開（複数の市町村に下記「ストーリーの構成文化財」が所在）。

2. ストーリーを語る上で不可欠な文化財群（ストーリーの構成文化財）

- 地域の魅力ある有形・無形の文化財群の一覧を作成するものとする。
- 構成文化財は、地域に受け継がれている有形・無形のあらゆる文化財を対象とし、地方指定や未指定の文化財も可能とする。
- 日本遺産のストーリーが我が国の文化・伝統を語るものであることから、文化財群の中に国指定・選定のものを必ず一つは含めることとする。

3. 認定申請の手続き

(1) 申請者

- 日本遺産の申請者は市町村とし、文化庁への申請は都道府県教育委員会を經由して行う。
- シリアル型の場合、原則として市町村の連名とするが、当該市町村が同一都道府県内に所在する場合は当該都道府県が申請者となることも可能。

(2) 認定申請を行うに当たっての条件

- 認定申請を行うことができるのは、歴史文化基本構想又は歴史的風致維持向上計画を策定済みの市町村、若しくは世界文化遺産一覧表記載案件又は世界文化遺産暫定一覧表記載・候補案件を有する市町村とする。
- 地域型の申請の場合は上記の条件が必須であるが、シリアル型の申請の場合は満たすことが望ましい。

(3) 認定の可否

- 認定可否は、文化庁に設置する外部有識者で構成される「日本遺産審査委員会」の審査結果を踏まえて、文化庁が決定する。

(4) 認定基準

- ストーリーの内容が、当該地域の際立った歴史的特徴・特色を示すものであるとともに我が国の魅力を十分に伝えるものとなっていること。
※ストーリーについては、以下の観点から総合的に判断する。
 - ・興味深さ（人々が関心を持ったり惹きつけられたりする内容となっているか。）
 - ・斬新さ（あまり知られていなかった点や隠れた魅力を打ち出しているか。）
 - ・訴求力（専門的な知識がなくても理解しやすい内容となっているか。）
 - ・希少性（他の地域ではあまり見られない稀有な点があるか。）
 - ・地域性（地域特有の文化が現れているか。）
- 日本遺産という資源を活かした地域づくりについての将来像（ビジョン）と、実現に向けた具体的な方策が適切に示されていること。
- ストーリーの国内外への戦略的・効果的な発信など、日本遺産を通じた地域活性化の推進が可能となる体制が整備されていること。

令和元年度日本遺産審査委員会委員名簿

デービッド・アトキンソン 小西美術工藝社代表取締役社長

稲葉 信子 筑波大学大学院教授

小山 薫堂 放送作家・映画脚本家

里中 満智子 漫画家

◎下村 彰男 東京大学大学院教授

田端 浩 観光庁長官

丁野 朗 東洋大学国際観光学部客員教授

広瀬 和雄 国立歴史民俗博物館名誉教授

山田 拓 株式会社美ら地球 代表取締役

マリサ・リンネ 京都国立博物館アソシエイトフェロー（国際交流担当）

（◎委員長）

※各委員の役職等は平成31年4月現在のものとなります。